



あゆみ

青梅市立河辺小学校 学校便り
4月号 No. 690 令和7年4月7日
青梅市立河辺小学校 校長 関谷 望

「自他尊重の心を持ち、主体的に学び続ける児童」の育成 ～河辺小の全ての力を「結集」させて～

校長 関谷 望

今年は満開の桜に祝福された4月となりました。お子様のご入学・ご進級、誠にありがとうございます。

新しい学年のスタートを迎えて、子供たちはたくさんの「わくわく」と同時に、若干の緊張や不安も感じていることと思います。このような時期は、「子供たちを大きく成長させる節目」となります。新学期を迎えた期待感や緊張感を、「向上心」へとつなげていきたいと思ひます。



河辺小創立50周年記念に
作成された河辺小キャラクター
「うめどりちゃん」

河辺小学校の「目指す児童像」は「自他尊重の心を持ち、主体的に学び続ける児童」です。

現代、そして今後の社会は「ブーカ（VUCA）時代」と言われ、予測が困難で変化が激しい時代です。（VUCA…Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字を取って作られた言葉）

こうした時代を「力強く」「しなやかに」生き抜いていけるために必要な「多様な他者と互いを尊重しあいながら、状況や変化に合わせて必要な事柄を判断し、主体的に問題を解決していく力」を育成していきたいと考え、このような「目指す児童像」を設定しています。

また、そのような「めざす児童像」を実現するためには、小学校段階で、「よりよい自分」を目指して頑張ろうとする心（向上心）と、その土台として「自分には価値がある」「やればできる」と考えられる気持ち（自己肯定感）を育むことが最も大切であると考えています。そこで、**河辺小学校の学校経営方針を「『向上心』とその基盤となる『自己肯定感』を育む」とし、全ての教育活動は、この目的を達成するためのものであると捉えています。**

そして、児童が「よりよい自分、よりよい学級、よりよい学校」を目指して一生懸命努力している姿を「一人一人が輝いている姿」、児童一人一人を認め励まし、成長を支える環境のある学校を「楽しい学校」と表し、**目指す学校像「一人一人が輝く、楽しい河辺小学校」**を設定しています。

このような「目指す児童像」「学校経営方針」「目指す学校像」を具現化できるよう、令和7年度も教職員一同、尽力してまいります。

人事制度上の関係で、本校を力強く支えた教職員が令和6年度末で数名去りましたが、新たに力がある、将来を嘱望される教職員を多数迎えることができました。

私たち教職員も、「自他尊重の心」を大切にしながら主体的に学び続け、児童・保護者・地域の皆様も含めた「河辺小の教育活動に係る全ての人々」と力を**結集**させ、よりよい教育活動を目指してまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。